

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)

【公表番号】特表 2007-504537 (P2007-504537A)

【公表日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2007-008

【出願番号】特願 2006-524904 (P2006-524904)

【国際特許分類】

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

H 0 4 B 5/02 (2006.01)

H 0 4 B 1/59 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 19/00 H

G 0 6 K 17/00 F

H 0 4 B 5/02

H 0 4 B 1/59

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 27 日 (2007.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

R F I D リーダからの搬送波を受信可能なアンテナと、
前記搬送波をバックスキッタするのに使用する前記 R F I D タグのためのバックスキ
ャッタパラメータを取り出すために、前記 R F I D リーダから送信された入力変調信号を
復調可能な復調器と、

前記復調器に結合され、バックスキッタコマンドを受信可能な状態機械であって、前
記バックスキッタコマンドは状態機械の状態を設定するところの状態機械と、

前記状態機械に結合される発信器であって、前記状態機械の状態によって決定される発
信器周波数を生成可能な発信器と、

前記発信器に結合され、前記搬送波を変調することで変調されたバックスキッタ信号
を生成可能な変調器とを備え、

前記変調されたバックスキッタ信号は前記バックスキッタパラメータに少なくとも
部分的に基づいて形成され、前記変調されたバックスキッタ信号の周波数は前記発信器
周波数によって決定される、R F I D タグ。

【請求項 2】

前記バックスキッタコマンドは前記発信器周波数を最適周波数に設定し、前記最適周
波数は周波数スペクトル中の少なくとも 2 つの周波数について信号品質を測定し、比較す
ることによって決定される、請求項 1 記載の R F I D タグ。

【請求項 3】

前記バックスキッタコマンドは、前記変調されたバックスキッタ信号の変調方式を
決定する、請求項 1 記載の R F I D タグ。

【請求項 4】

製品に関するコードを含むデータを記憶可能な不揮発性メモリをさらに備える、請求項

1 記載の R F I D タグ。

【請求項 5】

前記メモリは読み出し / 書き込みメモリである、請求項 4 記載の R F I D タグ。

【請求項 6】

前記アンテナは極高周波帯の周波数を受信可能である、請求項 1 記載の R F I D タグ。

【請求項 7】

前記搬送波によって誘導された誘導交流電圧を直流電圧に変換するように動作可能な電圧整流器をさらに含む、請求項 1 記載の R F I D タグ。

【請求項 8】

前記搬送波とともに送信されるタイミング信号は前記変調されたバックスキッタ信号の周波数を決定するために用いられる、請求項 1 記載の R F I D タグ。

【請求項 9】

前記タイミング信号によって生成される前記周波数は、前記バックスキッタコマンドによって設定された前記状態機械の状態によって決定される、請求項 8 記載の R F I D タグ。

【請求項 10】

R F I D システムで用いる R F I D リードにおいて、

ある周波数帯中の一以上の周波数の信号対雑音比を測定することによって最適周波数を決定する信号強度品質表示手段と、

前記信号強度品質表示手段の出力に基づいてコマンドを生成するプロセッサ手段であって、前記コマンドは前記最適周波数を含むところのプロセッサ手段と、

前記コマンドを含む信号を生成するためのトランシーバ手段とを備える R F I D リード。

【請求項 11】

前記最適周波数は R F I D タグがバックスキッタ信号のために使用するべき周波数を指定する、請求項 10 記載の R F I D リード。

【請求項 12】

前記コマンドは R F I D タグがバックスキッタ信号のために使用するべき変調方式を決定する、請求項 10 記載の R F I D リード。

【請求項 13】

前記 R F I D リードは販売管理システムに結合されている、請求項 10 記載の R F I D リード。

【請求項 14】

R F I D タグを動作させる方法において、

R F I D リードから受信したコマンドに基づいて、バックスキッタ変調信号設定を決定するステップと、

前記 R F I D リードから受信した搬送波を変調して、前記バックスキッタ変調信号設定に少なくとも部分的に基づいた、バックスキッタ変調信号を生成するステップとを含み、

前記バックスキッタ変調信号設定を決定するステップは、発信器が状態機械の状態に対応する特定の周波数に設定されるように、状態機械の状態を設定するステップを含む、方法。

【請求項 15】

前記 R F I D リードから受信したコマンドに基づいて、バックスキッタ変調信号設定を決定するステップは、ある選択された変調方式が前記バックスキッタ変調信号を変調するのに用いられるように状態機械の状態を設定するステップをさらに含む、請求項 14 記載の方法。

【請求項 16】

受信した搬送波から交流電圧を誘導するステップと、

前記交流電圧を整流して直流電圧を生成するステップと、

少なくとも部分的に前記直流電圧によって前記 R F I D タグに電力を供給するステップ

とをさらに含む、請求項 1 4 記載の方法。

【請求項 1 7】

前記バックスキッタ変調信号中において製品識別番号を送信するステップをさらに含む、請求項 1 4 記載の方法。

【請求項 1 8】

前記発信器が前記特定の周波数に設定されるように前記状態機械の状態を設定するステップは、所望のデータ速度を得るために前記特定の周波数に前記発信器を設定するステップを含む、請求項 1 4 記載の方法。